



自転車を一台ずつ点検する大隈輪業の大隈昌裕さん(みやき町中原中)

生徒の足、の安全守れ

中原中、地元自転車店主ら点検

みやき町

自転車を利用する生徒のクシートに記入して、持ち主の生徒に整備するように呼び掛けた。

安全を確保するための一斉点検が22日、みやき町の中原中(石橋節二校長)で行われた。地元の自転車店、大隈輪業などが自転車を一台ずつチェックし、不具合なく利用できるよう整備を促した。

点検は、同店の大隈保之代表(86)と息子の昌裕さん(58)が中心となり、PTA役員らと協力して実施。今回点検したのは約200台で、ブレーキの利き具合や車輪のゆがみ、サドルの高さなどを一台ずつ調

べ、不具合があればチェックシートに記入して、持ち主の生徒に整備するように呼び掛けた。

大隈代表は「チェーンの油不足やブレーキの片利き、タイヤの摩耗などが多かった」と点検結果を話し、安心して利用するためには「定期的な点検のほか、防犯登録や(整備済みの証である)TSマークも必要」とアドバイスした。

同校の一斉点検は、生徒たちの日常の足である自転車を危険なく使用してもらおうと、約30年前から実施している。(瀬戸健太郎)